

土砂災害の仕組みを知っておこう！

！ 土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域とは

大雨が降ったとき、河川のはん濫だけでなく、土砂災害も発生する危険性が高まります。そのためこのハザードマップには土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域も掲載しています。土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域は「土砂災害防止法」に基づき、茨城県が指定したものです。

👉 土砂災害の種類

土砂災害には、がけ崩れ（急傾斜地の崩壊）・土石流・地すべりの3種類があります。市では、がけ崩れのおそれがある土砂災害警戒区域・特別警戒区域が指定されています。

**土砂災害警戒区域
(イエローゾーン)**
がけ崩れがおきた場合に、危害を及ぼすおそれのある区域

👉 土砂災害警戒情報

土砂災害警戒情報は、大雨警報（土砂災害）が発表されている状況で土砂災害の危険が高まったときに、都道府県と気象庁が共同で発表します。


発表された場合、警戒区域付近にいる市民の皆さんは、いつでも避難できるよう準備するほか、市が発令する避難情報に注意しましょう。

**土砂災害特別警戒区域
(レッドゾーン)**
がけ崩れがおきた場合に、著しい危害を及ぼすおそれのある区域

👉 土砂災害時の避難のタイミング


土砂災害の前兆現象を確認したら、避難情報が出ていなくても、早めに避難しましょう。

- 小石がパラパラ落ちてくる
- 傾斜から濁った水が湧き出す
- 山鳴りや家鳴りなど普段聞きなれない音がする
- 雨が降り続けているのに川の水位が低い
- 家や樹木が傾く



※このマップでは浸水想定区域と区別するため、色を変えて表示しています。

土砂災害の種類と前兆現象、土砂災害警戒区域の設定条件

種類	概要	前兆現象
急傾斜地の崩壊	 <p>雨や地震等の影響により斜面が突然崩れる現象です。突発的に起こり、一瞬にして崩れ落ちるため、大きな被害をもたらします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 小石がパラパラ落ちてくる ● 斜面に割れ目ができる ● 斜面から水が湧き出す
土石流	 <p>山腹や川底の意思や土砂が大雨によって一気に下流へ流れ出す現象です。時速 20～40km という速度で、辺りの樹木や家を押流してしまいます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 山なりや木の折れる音、岩がぶつかる音がする ● 雨が降り続けているのに、川の水位が下がる ● 川が濁ったり、流木が混ざり始める
地すべり	 <p>比較的緩やかな斜面で、地下水等の影響で地中の粘土層等のすべりやすい面がゆっくり動く現象です。広い範囲で発生するため、被害も大きくなります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 道路や斜面にひび割れが生じる ● 木の根が切れる音がする